

野田ロータリークラブ週報

第3111回例会 (3月11日) 第3103号 2024.3.18 発行



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 ロータリーのテーマ 地区:「エンゲージメントを育もう」
野田:「育もう郷土の誇り」

■創立:昭和31年5月 ■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30

例会場 事務局 野田商工会館内5F(樺のホール)

〒278-0035 野田市中野台168-1 TEL 04(7125)0061 FAX 04(7125)0055

会長:三浦 直哉 幹事:白鳥 智子
会長エレクト:古谷 光裕 副幹事:田中 秀和
副会長:中村 政道 発行責任者:鈴木 康夫

第3111回 例会

点 鐘 三浦 直哉 会長
司 会 岡部 成行 副SAA
ソ ン グ 我等の生業

会長挨拶 三浦 直哉 会長



皆さんこんにちは
先週は雪が降り、寒い日が続きました。今日明日は少し寒さが残るようですが、それ以降春めく日が来るよだと予報されているようです。何時かは、冬も去り春が必ずやってくるようです。ロータリークラブの今年度もあと4か月となりました。残る行事の100%例会と親睦旅行が楽しくできれば良い

なと思っています。私の願いは次年度以降も伝統ある野田ロータリークラブの活動が活発になされることです。ここ数年、新型コロナの流行もあり、本来ロータリークラブの活動がどうであったかを問われるような年度だったと思っています。会員数は伸び続けていて奉仕の志を持った仲間が増えていることに大変うれしいと思います。しかし、その分、例会を用意する手間が増えていることもあります。私が入会したころの17年前は、会員数が50名くらいであったと記憶しています。今が65名ですので単純ですが1.3倍に会員数が増えたこととなります。また、その当時事務員が二人でやっていたと思いますが今は一人です。当時の事務局員さんは、ロータリークラブの字引のような人でした。クラブの慣習に詳しくキャリアも長かったので会計や組織に至るまで全てこなしてしまう人でしたから会員は皆頼ってさらに言えば任していたことも多かったのです。私が幹事だった時に今ほど努力はしなくともできたのですが今は違います。改めて、幹事と事務局員に感謝いたします。ロータリークラブの例会や夜

間例会等の運営には労力が伴います。現在、野田ロータリーの環境は過渡期であると思っています。でもこの過渡期を乗り切り、次年度以降も紡ぐことはやっていけるものと信じています。皆さんはこのクラブの会員です。クラブ奉仕を活かしてください。ある会員は、入会当時から率先して準備や後片付けをしてくれています。そういう陰徳を積んでくださっていることを感謝し、見てうれしいと思います。SAAが例会の終了時に後片付け委員会を告げますが委員会人数が少なかったり、欠席だったりして片づける労力が不安定です。また、バックヤードのどこに何があるのかを知ってもらうことにもなります。皆で作るロータリークラブに協力をお願いします。最後がお願いでしたが会長挨拶を終わります。

■ゲスト



第一工科大学
環境エンジニアリング学科教授
NPO法人日本地質汚染審査機構
理事長 高橋 洋様

RYLAセミナー参加者
(株)アメシス様社員
山田 裕樹様 原 翔太様



■ビジター

野田セントラルRC 渡邊 英子様



●御誕生祝い●

渡邊 浩之 会員 (3月12日)
仲長 孝 会員 (3月13日)



◎御結婚祝い◎

岡村 陽子 会員 (3月10日)
丸野 隆二 会員 (3月14日)

【出席】今回分(3月11日) 会員64名中46名出席(71.88%)

ニコニコボックス

仲長 孝 会員: 渡邊英子様ようこそいらっしゃいました。
仲長 孝 会員: 千葉カントリークラブシニアオープン広告協賛のお願い。
白島 智子 会員: 長女の紗夕が3/4(月)に性転換の手術を受け、無事退院しました。今後もよろしくお祈りします。
三浦 直哉 会員: RYLA弊社社員がお世話になりました。私もお世話になりました。レクリエーションジャンケン大会で優勝しました。
◎誕生祝いありがとうございます。
仲長 孝 会員、渡辺 浩之 会員
◎結婚祝いありがとうございます。
岡村 陽子 会員、丸野 隆二 会員
早退 3名

委員会報告

青少年奉仕委員会

待山 弘 委員長



2/17(土)18(日)RYLAセミナーに参加されました株式会社アメシス設備管理課 山田裕樹様、4月入社の上原翔太様に感想などご報告をさせていただきます。



幹事報告

白島 智子 幹事

1)フェロシップ親睦活動委員会より
「ポーランド大使館ウクライナ支援のタベ」ご案内
日時:4月15日(月)18:30~21:00
場所:中日ポーランド共和国大使館
ポーランド共和国特命全権大使パブェウ・ミエフスキ氏講演
ポーランドのウクライナ避難民支援金目録贈呈やウクライナ人歌手によるミニコンサート、会食があります。

千葉 CC 評議員会

仲長 孝 会員



日本シニアオープン競技
本年9月12日~15日 川間コース開催
広告協賛の依頼

卓話

浅野 泰泉 会員



ゲストスピーカー
NPO法人日本地質汚染審査機構
理事長 高嶋 洋様

テーマ

「空と海、大地をつなぐ水循環と野田市の地下水」

人口80億人を突破した地球上において、今、水に係る問題が多く取り上げられている。世界では水資源の奪い合いだけでなく、気候変動により、渇水や洪水など水循環に変調を来しており、水資源の偏在化が加速して、より一層、水的重要性が高まっている。陸上の水資源の大半は、地下水として保存されている。降水量が豊富な日本においても、水道施設の老朽化等により、地下水依存は高まる傾向にあり、地下水の利活用に関し、水循環基本法が制定され、地下水マネジメントの重要性が示唆されている。

野田市においては、地下水資源の汚染問題が平成の初期に発生し、30年以上にわたり、地下水汚染調査と対策が千葉県とともに実施されている。汚染の浄化措置は大変コストがかかり、かつすべての汚染を回収することが技術上極めて難しいため、野田市では汚染の浄化措置の指導と並行して汚染物質の挙動に係る監視と管理が進められている。地質汚染調査の推進と地下水挙動の継続的監視は、野田市に大きなレジェンドを残した。まず、野田市の地質構造の把握が進められた結果、野田市の地下水の存在状況と過去からの推移がきわめて詳細に掌握されている。また、野田市にはこのための観測井戸が200本以上、設置され、観測網が構築されている。水循環基本法により、地下水マネジメントの推進が求められる中、マネジメントに必要な地質情報と地下水観測設備、および情報が整っている地域は、千葉県内でも稀有で、日本全体でも屈指の状況にある。さらに、野田市では、農地保全や水質汚濁対策など、表流水に係る保全の取り組みも「コウノトリプロジェクト」などを通して進められてきた経緯があり、「水」に係るノウハウが蓄積されている。NPO法人日本地質汚染審査機構では、野田市とのコラボレーションにより、コウノトリが



く生息するセルビアでの環境協力事業の展開と相互の環境学習事業の推進を提案している。

コウノトリが舞うセルビアとの環境協力事業を
NPO法人日本地質汚染審査機構が構想



記念品贈呈

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表

月日	卓話・行事	月日	卓話・行事
3月18日(月)	会員卓話 梶原宏氏会員(私の好きな落語の世界)	4月15日(月)	卓話 古賀怜衣様(ロータリー財団元奨学生)
3月25日(月)	会員卓話 ゲスト映画「弁当の日」監督安武信吾様	4月22日(月)	会員卓話 菊地孝則会員
4月 1日(月)	会員卓話 栗林徹会員	4月29日(月)	休日(昭和の日)地区研修協議会
4月 8日(月)	100%例会(育もう郷土の誇り実行委員会)	5月 6日(月)	休日(振替休日)